

平成30年10月25日(木)  
福祉関係者のための  
高次脳機能障害研修会

# 生活訓練サービスの取り組み ～復職支援の紹介～



国立障害者リハビリテーションセンター  
第一自立訓練部 生活訓練課  
作業療法士 林 八重

# 本日の内容

1. 生活訓練の紹介
2. 復職支援の紹介

# 1. 生活訓練の紹介

# 障害福祉サービス

## 日中活動系[昼間]

## 居住系[夜間]

## 訪問系

### 介護給付

- ・療養介護(医療型)
- ・生活介護(福祉型)

- ・共同生活介護
- ・施設入所支援

- ・ホームヘルプ(居宅介護)

- ・重度訪問介護
- ・同行援護

- ・行動援護

- ・重度障害者等包括支援

- ・短期入所(ショートステイ)

### 訓練等給付

- ・自立訓練(機能訓練・生活訓練)
- ・就労移行支援
- ・就労継続支援(A型・B型)
- ・自立生活援助
- ・就労定着支援

- ・共同生活援助(グループホーム)

### 地域生活支援事業

- ・地域活動支援センター

- ・福祉ホーム

# 概要

- 対象者:①高次脳機能障害の診断を受けた方
  - ②自立した生活を送るために訓練を必要とする方
  - ③障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方
- 期 間:24ヶ月以内(原則)
- 定 員:30名
- 訓練形態:通所・入所・訪問

# 訓練プログラム概要

## 【メイン・プログラム】

- ・園芸訓練
- ・調理訓練
- ・就労準備訓練

## 【基礎プログラム】

- ・日常生活訓練
- ・学習ワーク

## 【目的別プログラム】

- ・メモ練習
- ・作業手順訓練

## 【共通プログラム】

- ・朝&夕の会、掃除、プランニング、まとめ
- ・グループワーク
- ・プリント学習

# 週間スケジュール(例)

	月	火	水	木	金
9:00	HR・朝の会	HR・朝の会	HR・朝の会	HR・朝の会	HR・朝の会
10:00	プランニング	園芸 調理 就労準備			GW (グループワーク)
11:00	日常生活訓練 学習ワーク				
12:00	昼休み				
13:00	園芸 調理 就労準備	学習ワーク・プリント学習 個別OT			園芸 調理 就労準備
14:00	作業手順				メモ練習
15:00	掃除・夕の会				掃除・夕の会 まとめ
16:00	フリータイム・面接など				

※ 個々の状況や目標に応じて、面接やリハ体育、個別訓練、自動車訓練等を追加し、訓練プログラムを作成します。

# 目的

## ●生活リズムの確立

日中の活動性を高め、規則正しい生活を送る

## ●スケジュール管理

予定表や携帯電話等を活用して日課に沿った行動ができる

## ●生活管理能力の向上

服薬管理、調理、洗濯、掃除など、日常生活に必要な活動を身につける

## ●社会生活技能の向上

公共交通機関の利用、買い物など、社会生活に必要な技能を身につける

## ●対人技能の向上

社会生活や対人関係のルール、状況判断、対処法を身につける

## ●作業能力の向上

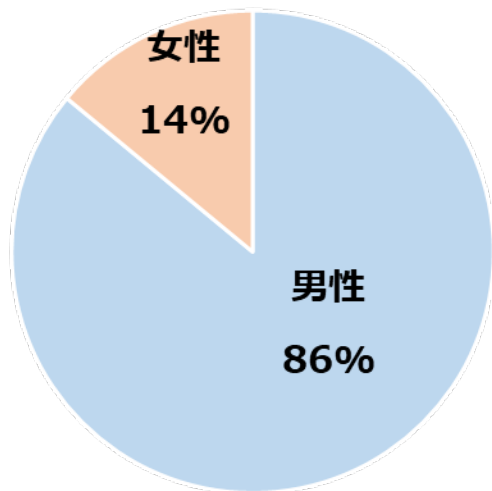
得意なことを活かせる作業内容や環境を具体化し、作業力を身につける



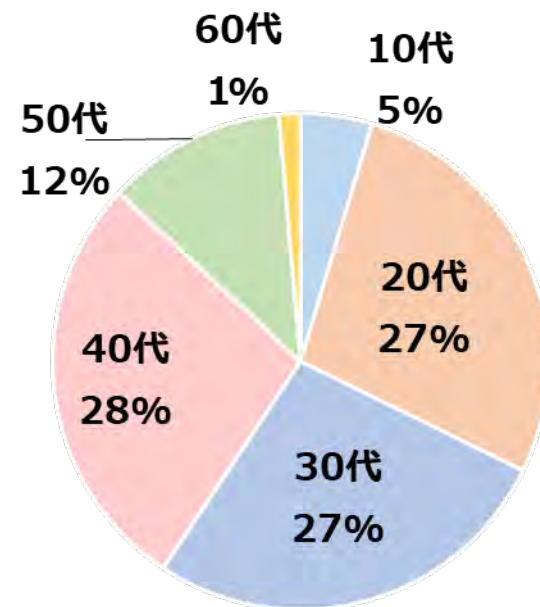
# 利用者の状況

平成18年10月から平成30年3月までに利用開始した214名

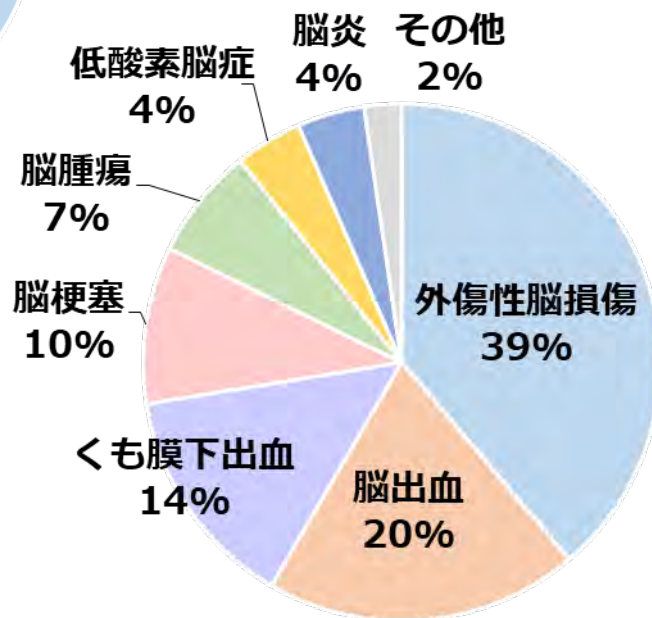
## 性別



## 年齢

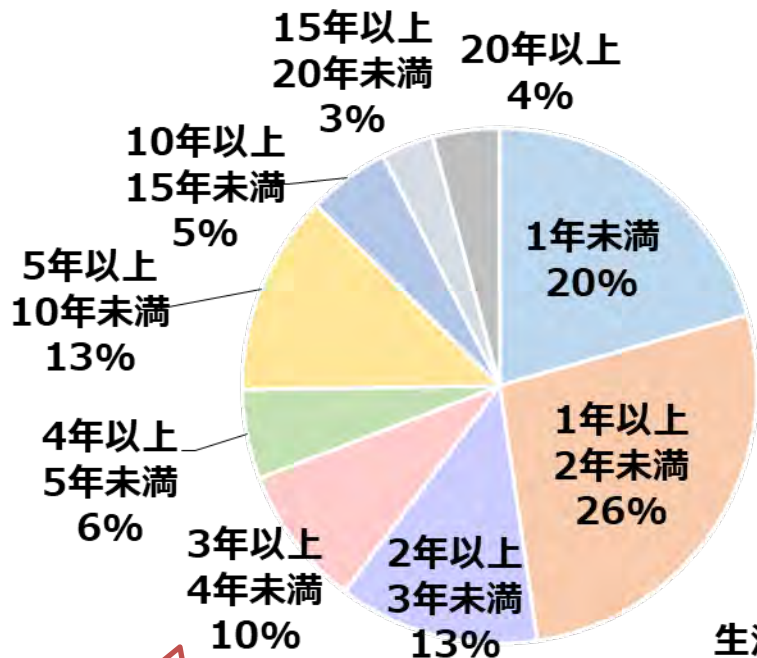


## 原因疾患



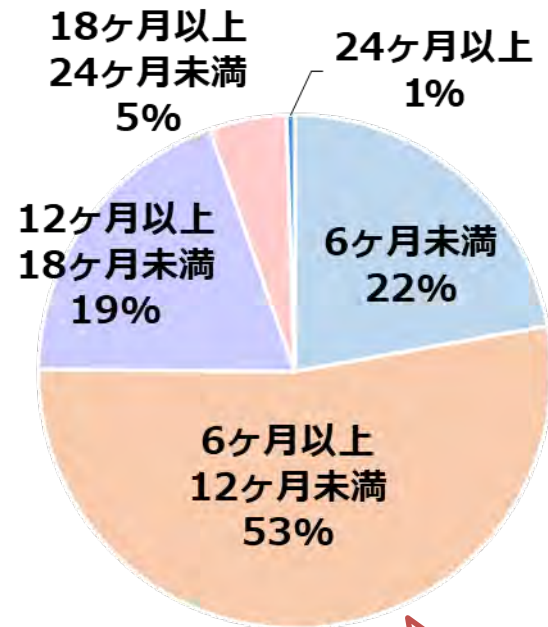
平均  
36.5歳  
(16~67歳)

# 受傷・発症からの期間



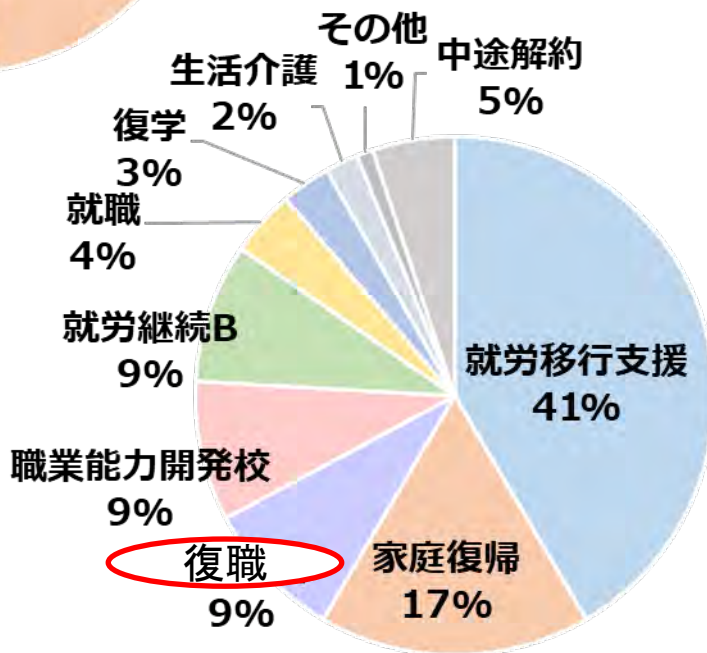
平均  
4.5年  
(184~9747日)

# 訓練期間

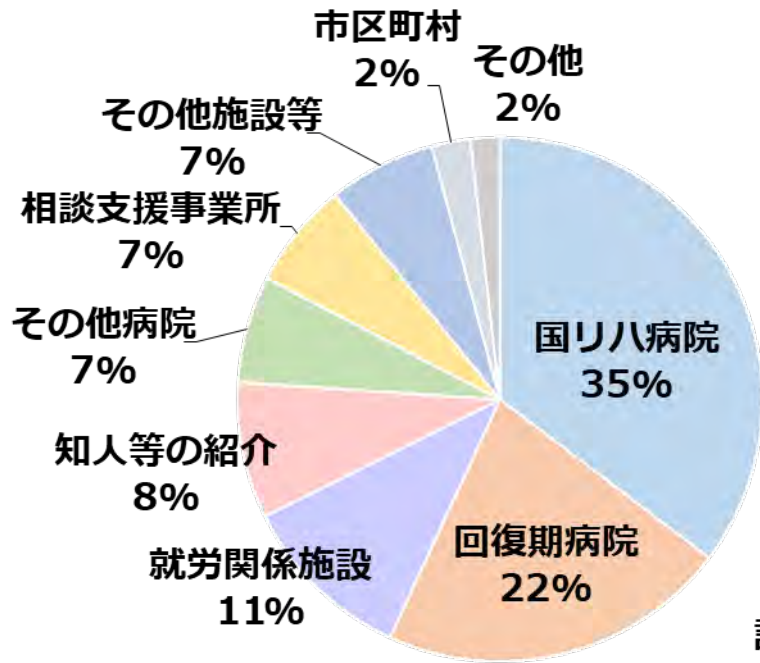


平均  
9.7ヶ月  
(70~847日)

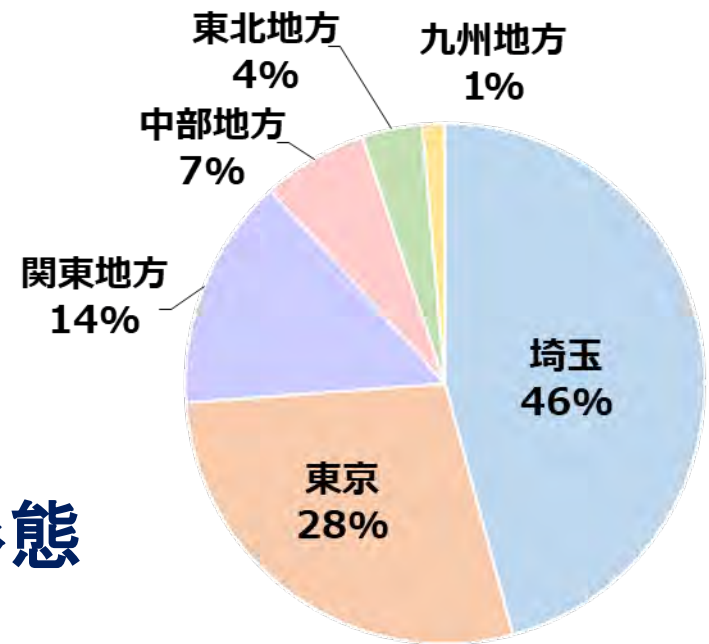
# 帰結



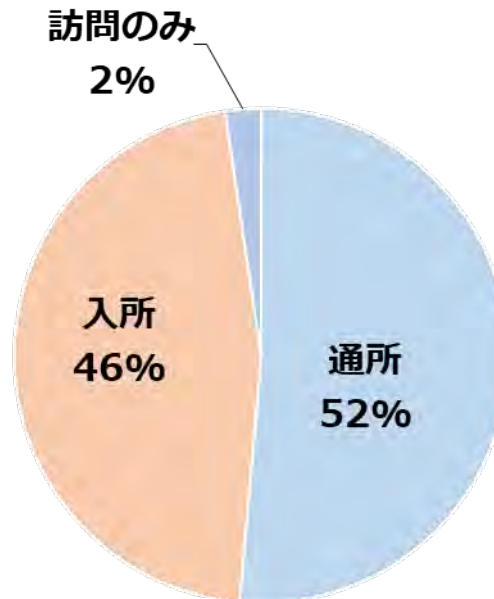
## 利用経緯



## 居住地



## 利用形態



## 2. 復職支援の紹介

※復職・・・ここでは、もともと働いていた職場に復帰すること、  
という意味で使用しています。

# 復職支援 これまでの状況

復職希望の利用者 39名

## ◇帰結

復職達成 24名／達成困難 15名

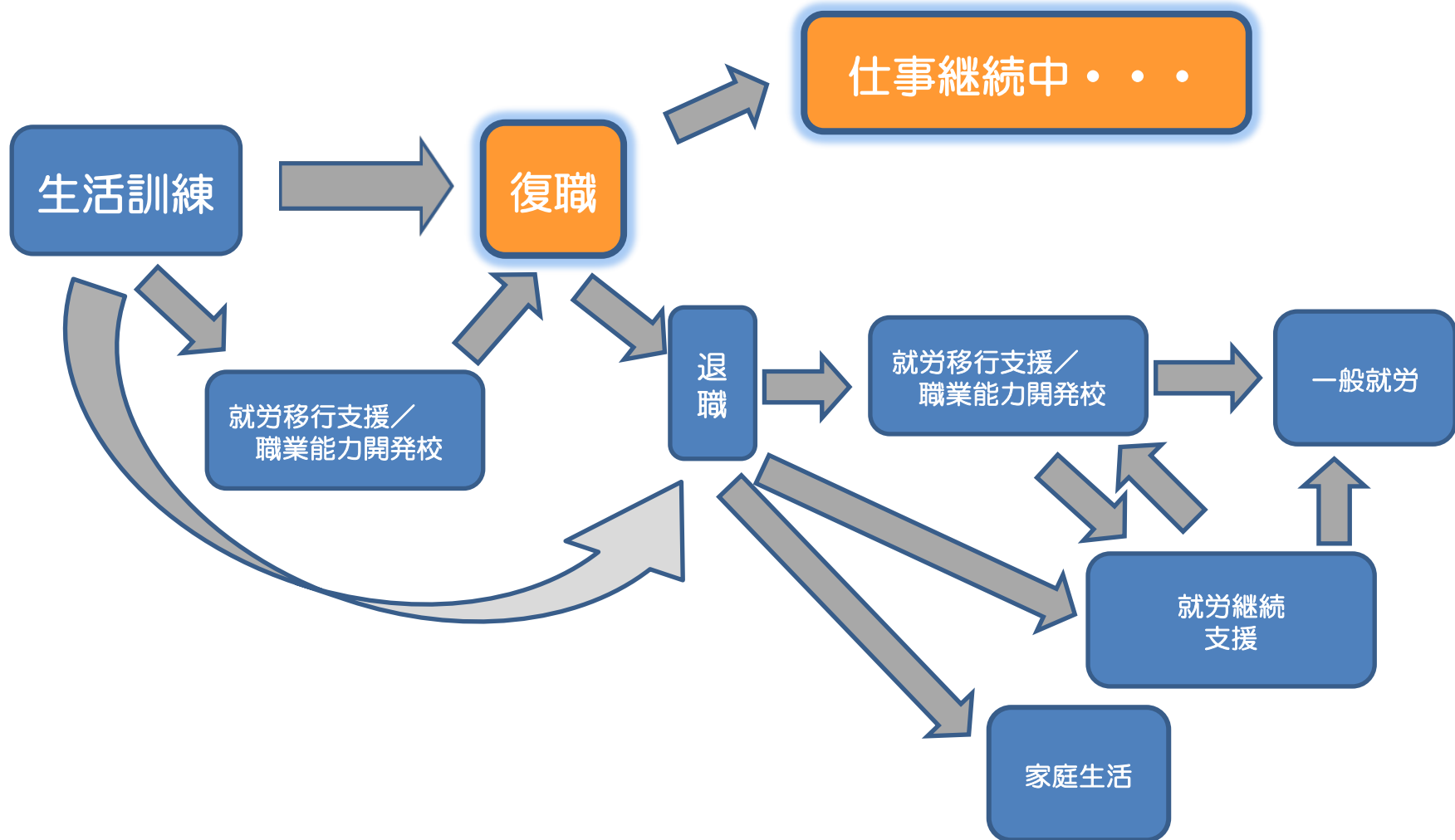
## ◇性別

男性 34名／女性 5名

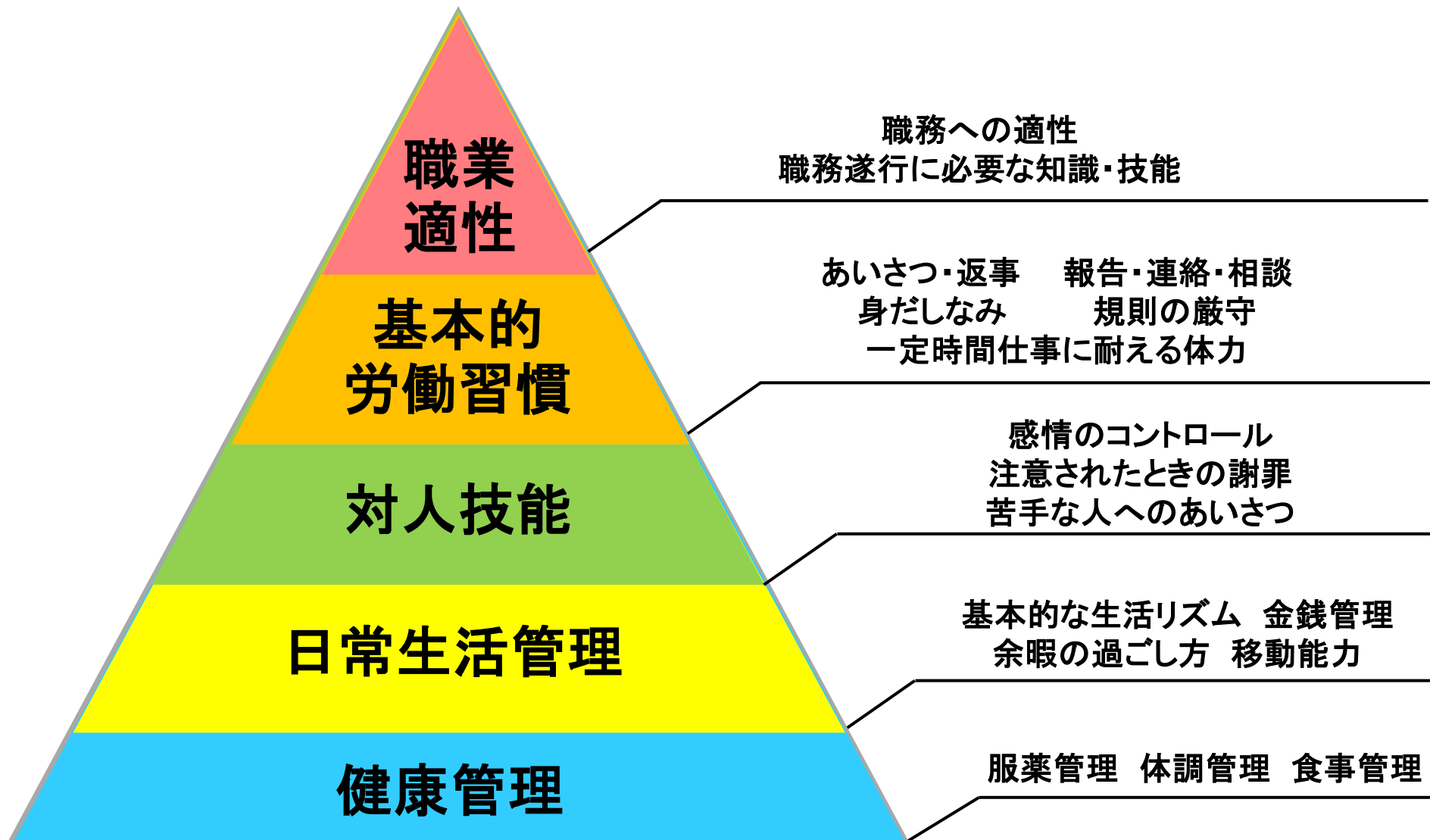
## ◇平均年齢

43.3歳

# 復職目標の方の進路(イメージ)



# 職業準備性



職業準備性のピラミッド(就業支援ハンドブック, 2016)

# 復職要因となり得るポイント

- ◇復職への意思
- ◇職場のサポート、配置転換・マッチング
- ◇リハビリ出勤
- ◇支援体制の構築・共通理解
- ◇支援者の同行
- ◇業務の模擬的な訓練
- ◇代償手段の活用
- ◇職業準備性の課題
- ◇生活面のサポート



# 後支援の状況

- ◇「電話対応がスムーズにいかない」
- ◇「自分から進んで仕事を覚えようとしませんが・・・」
- ◇「決まった業務は3つしかないのに、  
次は何をしたらいいのか聞いてくる」
- ◇「会社に伝えないといけないことが伝えられない」

# 安定した生活を送るために

◇仕事を続けるために…

(業務内容、代償手段の活用、人間関係などの環境)

◇職場の負担の軽減

◇家族の負担の軽減

◇余暇活動の充実